

(別表 1)

事業継続力強化支援計画

事業継続力強化支援事業の目標

I 現状

(1) 地域の災害リスク

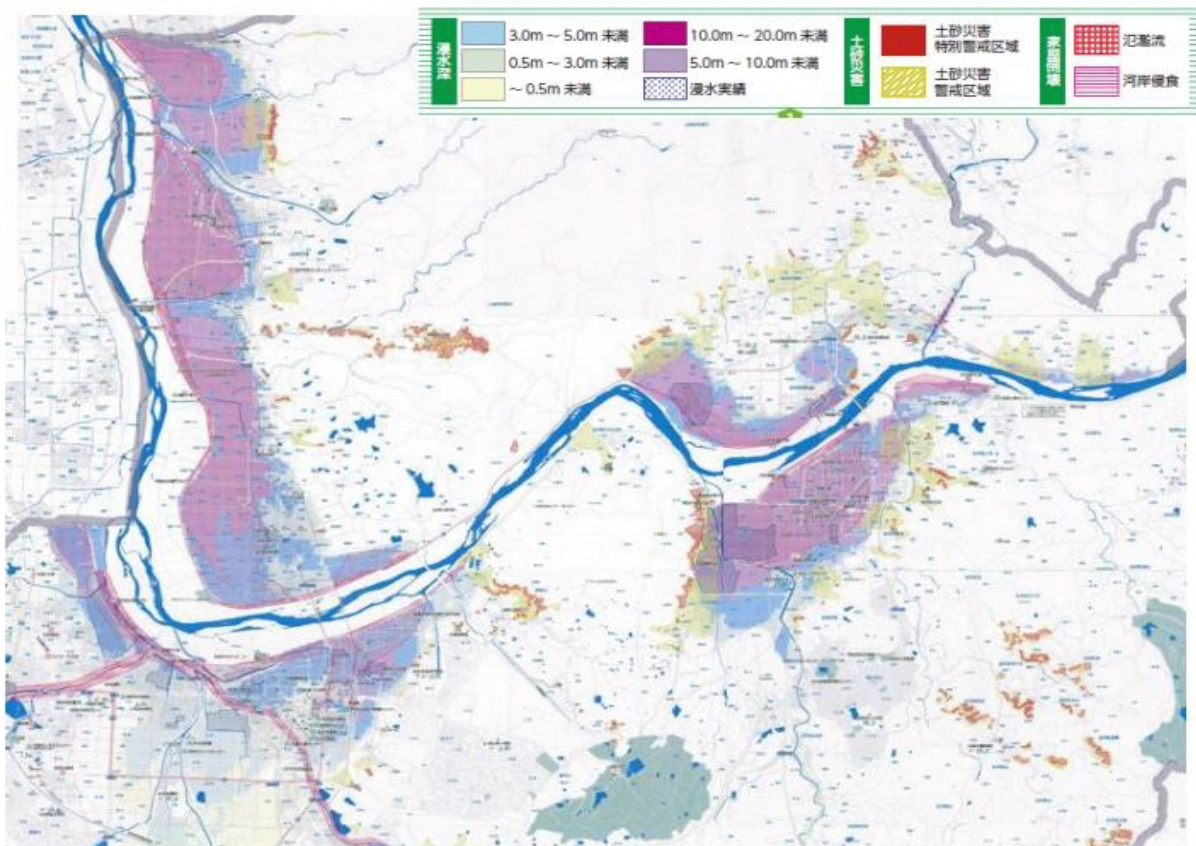
(洪水・土砂災害：ハザードマップ)

当市は、三上山の植林、高山ダムの整備、各河川・堤防等の整備により、28災（※別添28災の状況）当時より安全性は向上したが、近年の気象状況から、局地的な豪雨の発生により、依然として土石流、木津川支流の越水氾濫等は、発生の可能性が高いものと考えられる。特に、豪雨による急激な水位の上昇と降雨量による土石流の発生予測等が重要となり、土砂災害警戒区域及び浸水予想地域等への避難情報の伝達が特に重要となる。

河川氾濫等による浸水想定区域内には、国道24号、国道163号、JR線の一部が水没し、市役所においても最大4.2mの浸水が想定されており、社会的に甚大な影響を及ぼす恐れがある。非常用電源の自家発電機の定期点検の実施や補油など日常からの適正管理が必要である。また、市役所周辺が水没することから、1～2日間は孤立する可能性があり、災害対策本部の移転や職員等の備蓄食糧等の準備も必要である。

ハザードマップによると、当会が立地する市街地地域において、下記の通り浸水が予想されている。

河川氾濫等による浸水想定



(木津川市総合防災マップから)

※参考資料：木津川市防災マップ

<https://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,13034,12,369,html>

※ 28 災の状況

ア 昭和 28 年 8 月 南山城水害：木津川右岸の山間部に 400mm を超える局地的豪雨により、山城地域では、木津川支流（渋川、天神川、不動川、鳴子川、谷川）で堤防が決壊、三上山周辺の山腹が崩壊し土石流となり流下し、死者 31 名、流失家屋 13 戸、全半壊家屋 118 戸、床上浸水 83 戸の被害、加茂地域では、和東川の増水により、流失家屋 8 戸、全半壊家屋 18 戸、床上浸水 43 戸等の被害が発生した。

イ 昭和 28 年 9 月 台風 13 号災害：降水量は府南部で 200mm であったが、南山城水害の直後のため、河川の応急箇所が再決壊し、山城地域では、死者 1 名、重傷者 5 名、全壊家屋 4 戸、半壊家屋 13 戸、加茂地域では全壊家屋 2 戸、半壊家屋 12 戸の被害で、市域全般に農地の冠水等により被害が多数発生した。

(地震：J-SHIS)

地震ハザードステーションの防災地図によると、奈良盆地東縁断層帯（※下図網掛け）及び生駒断層帯、木津川断層帯による震度 7、南海トラフは震度 6 強の地震が今後 30 年間で 70% 以上の確率で発生すると言われている。想定される建物被害は以下の通りであり、奈良盆地東縁断層帯の被害想定が最も大きい。

地震が想定される震源の断層名	木津川市における最大予測震度	建物被害			人的被害		
		全壊(棟)	半壊・一部損壊(棟)	焼失建物(棟)	死者数(人)	要救助者数(人)	短期避難者数(人)
奈良盆地東縁断層帯	7	12,040	8,310	3,120	470	2,240	29,720
生駒断層帯	7	6,410	7,870	1,400	270	1,240	20,500
木津川断層帯	7	8,900	8,200	2,200	330	1,580	24,550
南海トラフ地震	6 強	720	—	20	30	110	—

出典：京都府地震被害想定調査委員会－2008 年（南海トラフは 2014 年）

※参考資料：木津川市地域防災計画

<https://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,45470,12,369,html/>

(感染症)

新型インフルエンザは、約 10 年前に出現し、概ね 40 年の周期で世界的に大きな流行を繰り返している。また、新型コロナウイルス感染症のように国民が免疫を獲得しておらず、全国的かつ急速な蔓延により、本市においても多くの市民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある。

※参考資料：木津川市新型インフルエンザ等行動計画

<https://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,40535.31.142.html>

(2) 商工業者の状況

- ・ 商工業者等数 1,462人
- 内、小規模事業者数 896人

【内訳】

	業種	商工業者数	内、小規模事業者数	備考（事業所の立地状況等）
商工業者	建設業	242	193	市内に広く分散し、ほとんどが少人数で営む下請企業である。
	製造業	163	104	全体の1割程度を占め、山城地区の木津川沿いに立地している事業者が多い。
	卸売業	71	39	市内に広く分散し、大規模な卸売はほとんどない。売上規模1億円以下がほとんど。
	小売業	354	191	約半数が小規模事業者。大規模・中堅事業者の影響で経営は厳しい。立地はJRの駅、近鉄の駅を中心としている。
	飲食業	118	89	主に駅の周辺、国道24号線、163号線の沿線に立地している。
	サービス業	405	220	主に丘陵地の新興住宅地内や国道沿いに多い。
	その他	109	60	運輸業、学習支援業、その他である。
	合計	1,462	896	

(3) これまでの取組

1) 木津川市の取組

ア) 各種計画の整備

- ・ 木津川市防災マップ 令和2年3月作成（令和3年9月一部修正）
- ・ 木津川市避難情報発令基準 令和元年6月策定
- ・ 木津川市国土強靱化地域計画 令和2年3月策定（令和3年12月一部修正）
- ・ 新型インフルエンザ等行動対策計画 平成27年3月策定

イ) 防災訓練への参加及び支援等

年度1回開催 令和3年度は、令和4年1月17日に実施

ウ) 防災のための備蓄

○当市としての備蓄

災害時の初動に必要な物品を備蓄また新型コロナウイルス感染症対策として、段ボールベッド、プライベートテント、体温計、マスク、空気清浄機などを準備

【備蓄食料】

令和4年10月31日現在

品名	アルファ米	パン	クラッカー	飲料水
数量	14,850袋	15,074個	9,540包	22,080本
箱数	297	523	159	920

○避難所用備蓄食料及び備蓄資材等

各学校等の指定避難所に収容人数に応じた数量を設置。

【主な備蓄資材】

品名	毛布	マット ／ エア ーマッ ト	プライ バシー テント	組立て トイレ	携帯ト イレ	発電機	段ボー ルベッ ド	スト ーブ	マスク
数量	2,210 枚	3,722 枚	610 張	71 個	1,200 個	25 機	661 個	36 台	121,300 枚
箱数	221	132	90	14	24	-	661	36	92

* 発電機は、各小中学校、加茂支所、当尾の郷会館及び加茂青少年山の家配置済み
(予備4台は、木津南中学校の防災倉庫に保管)

○小規模事業者及び家庭等での備蓄

広報誌、出前講座、防災情報発信アプリケーションなどを使用して情報を発信し、小規模事業者及び家庭等における発災当初に命を守るために必要な備蓄を啓発

エ) 防災協定

医療救護、広域連携、災害復旧、水道、物資供給、輸送協力及び福祉避難所開設等の業務を円滑に実施するための防災協定を締結するとともに、それらの拡充を図る。

※参考資料：木津川市災害時における協定一覧表

[20180612-164629.pdf \(kizugawa.lg.jp\)](https://www.kizugawa.lg.jp/20180612-164629.pdf)

オ) 感染症対策

○ 当市感染者情報の収集・把握。ホームページ等により周知

○ 当市小規模事業者に対する支援（相談窓口の開設、給付金支給等）

2) 木津川市商工会の取組

ア) 地域防災情報等に関する情報の周知

国、京都府、木津川市からの防災情報や中小企業基盤整備機構の事業者 BCP 情報等を、適宜、会員事業者に情報提供（商工会だよりを活用）

イ) BCP セミナーを開催（平成29年12月・平成30年12月）

ウ) 京都府共済協同組合等と連携した共済・損害保険の加入促進

全国商工会連合会会員福祉共済、休業対応応援共済の加入推進

エ) 感染症による経営対策

相談窓口の開設、コロナ禍影響調査の実施

II 課題

現状では、緊急時の取組について漠然的な記載にとどまり、協力体制の重要性についての具体的な体制やマニュアルが整備されていない。加えて、平時・緊急時の対応を推進するノウハウをもった人員が不足している。

更には、保険・共済に対する助言を行える当会経営支援員等職員が不足している。といった課題が浮き彫りになっている。

また、感染症対策においては、地区内小規模事業者に対して予防接種の奨励や手洗いの徹底、体調不良者を出社させないルール作りや、感染拡大時に備えてマスクや消毒液等の衛生品の備蓄、リスクファイナンス対策として保険の必要性を周知するなどが必要である。

Ⅲ 目標

- ・ 地区内小規模事業者に対し災害リスクを認識させ、事前対策の必要性を周知する。
- ・ 発災時における連絡体制を円滑に行うため、当会と当市との間における被害情報報告ルートを構築する。
- ・ 発災後速やかな復興支援策が行えるよう、組織内における体制、関係機関との連携体制を平時から構築する。

○成果目標（計画終了後まで）

商工業者数	内、小規模事業者数	事業継続力強化計画策定目標	
		現状策定者数	目標策定者数
1,500	900	2	10

- ・ 上記内容に変更が生じた場合は、速やかに京都府へ報告する。

事業継続力強化支援事業の内容及び実施期間

(1) 事業継続力強化支援事業の実施期間（令和5年4月1日～令和10年3月31日）

(2) 事業継続力強化支援事業の内容

- ・当会と当市の役割分担、体制を整理し、連携して以下の事業を実施する。

< 1. 事前の対策 >

- ・平成28年12月に策定した「木津川市業務継続計画」について、本計画との整合性を整理し、発災時に混乱なく応急対策等に取り組めるようにする。

1) 小規模事業者に対する災害リスクの周知

- ・巡回経営指導時に、ハザードマップ等を用いながら、事業所立地場所の自然災害等のリスク及びその影響を軽減するための取組や対策（事業休業への備え、水災補償等の損害保険・共済加入等）について説明する。
- ・会報や広報、ホームページ、メールマガジン等において、国の施策の紹介や、リスク対策の必要性、損害保険の概要、事業者BCPに積極的に取り組む小規模事業者の紹介等を行う。
- ・小規模事業者に対し、事業者BCP（即時に取組可能な簡易的なものを含む）の策定による実効性のある取組の推進や、効果的な訓練等について指導及び助言を行う。
- ・事業継続の取組に関する専門家を招き、小規模事業者に対する普及啓発セミナーや行政の施策の紹介、損害保険の紹介等を実施する。
- ・新型コロナウイルス等の感染症は、いつでも、どこでも発生する可能性があり、感染の状況も日々変化するため、事業者には常に正しい情報を入手し、デマに惑わされることなく、冷静に対応することを周知する。
- ・新型コロナウイルス等の感染症に関しては、業種別ガイドラインに基づき、感染拡大防止策等について事業者への周知を行う。
- ・事業者へ、マスクや消毒液等の一定量の備蓄、オフィス内換気設備の設置、ITやテレワーク環境を整備するための情報を提供する。

2) 木津川市商工会の事業継続計画の作成

- ・令和5年度内に事業継続計画を策定予定。

3) 関係団体等との連携

- ・BCPに精通した専門家を招聘し、会員事業者以外も対象とした普及啓発セミナーを実施する。また、地域の損害保険会社と連携し損害保険の紹介等を実施する。
- ・当市と当会は関係団体と連携し、啓発ポスターの掲示やセミナー等を開催し、事業継続力強化計画の啓発を図る。セミナーには当会や当市の職員も出席し、資質向上に努める。

4) フォローアップ

- ・小規模事業者の事業者BCP等取組状況の確認
- ・当市と当会の担当部署間で定期的に情報交換や協議を行う場を設定する。

5) 当該計画に係る訓練の実施

- ・自然災害が発生したと仮定し、当市との連絡ルートの確認等を行う（訓練は必要に応じて実施する）。

＜2. 発災後の対策＞

- ・自然災害等による発災時には、人命救助が第一であることは言うまでもない。そのうえで、下記の手順で地区内の被害状況を把握し、関係機関へ連絡する。

1) 応急対策の実施可否の確認

- ・発災後は、5時間以内に職員の安否報告を行う。
(SNS等を利用した安否確認や業務従事の可否、大まかな被害状況(家屋被害や道路状況等)等を当会と当市で共有する。)
- ・国内感染者発生後には、職員の体調確認を行うとともに、事務所の消毒、職員の手洗いうがい等の徹底を行う。
- ・感染症の流行や、新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づき、政府による「緊急事態宣言」が出た場合は、木津川市における感染症対策本部に基づき、当会による感染症対策を行う。

2) 応急対策の方針決定

当会と当市との間で、被害状況や被害規模に応じた応急対策の方針を決める。

- ①(豪雨における例)職員自身の目視で命の危険を感じる降雨状況の場合は出勤をせず、職員自身がまず安全確保をし、警報解除後に出勤する。
- ②被災等により職員全員による応急対策ができない場合の役割分担を決める。
- ③大まかな被害状況を確認し、2日以内に情報共有する。

(被害規模の目安は以下を想定)

大規模な被害がある	<ul style="list-style-type: none">・地区内10%(約100件)程度の事業所で、「瓦が飛ぶ」、「窓ガラスが割れる」等、比較的軽微な被害が発生している。・地区内1%(約10件)程度の事業所で、「床上浸水」、「建物の全壊・半壊」等、大きな被害が発生している。・被害が見込まれる地域において連絡が取れない、もしくは、交通網が遮断されており、確認ができない。
被害がある	<ul style="list-style-type: none">・地区内1%(約10件)程度の事業所で、「瓦が飛ぶ」、「窓ガラスが割れる」等、比較的軽微な被害が発生している。・地区内0.1%(数件)程度の事業所で、「床上浸水」、「建物の全壊・半壊」等、大きな被害が発生している。
ほぼ被害はない	<ul style="list-style-type: none">・目立った被害の情報がない。

※なお、連絡が取れない区域については、大規模な被害が生じているものとする。

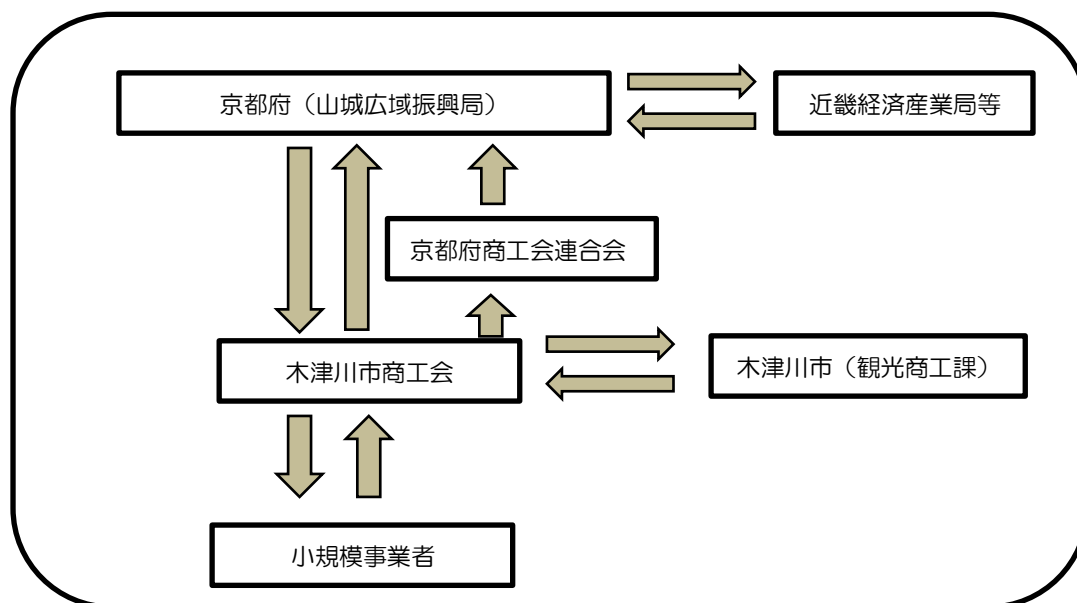
- ・本計画により、当会と当市は以下の間隔で被害情報等を共有する。

発災後～1週間	1日に1回共有する
1週間～2週間	2日に1回共有する
2週間～1ヶ月	1週間に1回共有する
1ヶ月以降	必要に応じて共有する

・当市で取りまとめた「木津川市新型インフルエンザ等対策行動計画」を踏まえ、必要な情報の把握と発信を行うとともに、交代勤務を導入する等体制維持に向けた対策を実施する

< 3. 発災時における指示命令系統・連絡体制 >

- ・自然災害等発生時に、地区内の小規模事業者の被害情報の迅速な報告及び指揮命令を円滑に行うことができる仕組みを構築する。
- ・当会と当市は被害状況の確認方法や被害額（合計、建物、設備、商品等）の算定方法について、あらかじめ確認しておく。
- ・当会と当市が共有した情報を、府の指定する方法にて当会又は当市より府へ報告する。
- ・感染症流行の場合、国や都道府県等からの情報や方針に基づき、当会と当市が共有した情報を京都府が指定する方法にて当会または当市より京都府へ報告する。



< 4. 応急対策時の地区内小規模事業者に対する支援 >

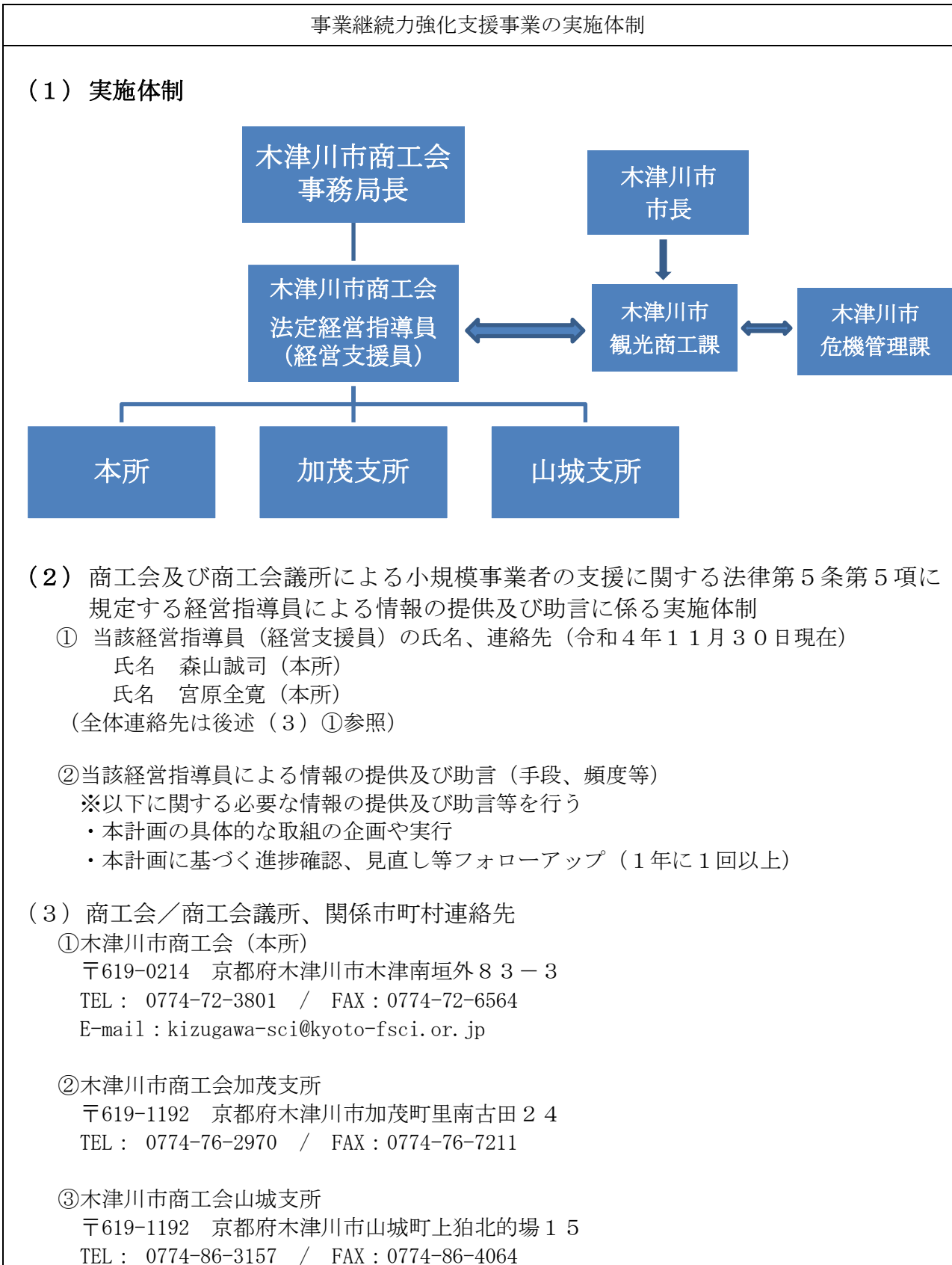
- ・当会は、国及び京都府からの依頼により、特別相談窓口を設置する。
- ・SNS等を活用して収集した被災状況等の情報に基づいて可能な限り詳細を確認するとともに、対策を検討する。
- ・安全性が確認された場所において、相談窓口を設置する。
- ・応急時に有効な被災事業者施策（国や府、市町村等の施策）について、地区内小規模事業者等へ周知する。
- ・感染症の場合、事業活動に影響を受ける、またはその恐れがある小規模事業者を対象とした支援策や相談窓口の開設等を行う。

< 5. 地区内小規模事業者に対する復興支援 >

- ・京都府の方針に従って、復旧・復興支援の方針を決め、被災小規模事業者に対し支援を行う。
- ・被害規模が大きく、被災地の職員及び関係機関の職員等の対応だけでは対応が困難な場合には、他の地域からの応援派遣等を京都府に相談する。
- ・上記内容に変更が生じた場合は、速やかに京都府へ報告する。

(別表 2)

事業継続力強化支援事業の実施体制



④木津川市役所 観光商工課

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9

TEL：0774-75-1216 / FAX：0774-72-3900

E-mail：kanko@city.kizugawa.lg.jp

- ・上記内容に変更が生じた場合は、当会と当市は速やかに京都府へ報告する。

(別表3)

事業継続力強化支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
必要な資金の額	600	600	600	600	600
・専門家派遣費	200	200	200	200	200
・協議会運営費	10	10	10	10	10
・セミナー開催費	200	200	200	200	200
・パンフ、チラシ作製費	100	100	100	100	100
・防災、感染症対策費	90	90	90	90	90

(備考) 必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

調達方法

会費収入、木津川市補助金、京都府補助金、事業収入 等

(備考) 調達方法については、想定される調達方法を記載すること。

(別表 4)

事業継続力強化支援計画を作成する商工会又は商工会議所及び関係市町村以外の者を連携して事業継続力強化支援事業を実施する者とする場合の連携に関する事項

連携して事業を実施する者の氏名又は名称及び住所 並びに法人にあつては、その代表者の氏名
京都府共済協同組合 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾78 京都経済センター4階 代表理事 大嶋 喜好 東京海上日動火災保険株式会社 代理店 有限会社契約センター 木津川市梅谷北中谷70-1 代表取締役 坪内 重広 取締役 浅井 真 (商工会員)
連携して実施する事業の内容
事前の対策 ・小規模事業者に対する災害リスクの周知 災害リスクの周知や影響を軽減するための取組・対策の説明 ・関係団体等との連携連絡 各種災害リスクに対応した補償や共済加入についての説明 関係機関への普及啓発ポスター掲示依頼、セミナー等の共催
連携して事業を実施する者の役割
(役割) 各種保険・共済制度の情報提供、加入説明、セミナー等の共催 (効果) 小規模事業者に対する専門的知識の提供、サポート力の強いセミナーの開催
連携体制図等